

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.28)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転再開について

「豊田ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業に係る安全性と環境保全の確保に関する協定書」第14条第4項の規定に基づき、7月18日付けで豊田市より運転再開の承認をいただき、翌日19日から豊田PCB廃棄物処理施設の処理運転を開始しました。

二度と漏洩事故を起こさないよう安全を最優先に、事故前に搬入してあるコンデンサ254台から少しずつ処理を進めますので、よろしくお願いいたします。

今般のPCB漏洩事故に関して多大なるご心配、ご迷惑をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。また多くのご助言・ご指導をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。

1. 豊田市の運転再開の条件

- (1) 日本環境安全事業株式会社(JESCO)の管理責任体制を強化し、運転会社等と信頼・協力関係を密にしてヒューマンエラーの防止に努めること。
- (2) 今回の事故対策及び総点検で抽出された不具合項目等について整理し、今後の不具合等の未然防止に努めること。
- (3) JESCO各事業所間の情報の共有化、改善策の横展開に努めること。
- (4) 監督官庁である環境省との連絡を密にし、積極的に必要な指導を受けること。
- (5) 地元関係者等への情報提供を引き続き積極的に行い、信頼関係の回復に努めること。

2. 運転再開の基本方針

- (1) 安全を最優先に、PCBの処理については、運転再開当初は処理能力の30%程度で始め、安全確実にを行い、処理量を徐々に上げていきます。
- (2) 豊田事業所と本社一体の管理体制のもとで、安全に運転します。
処理施設の健全性、運転・操業の確実性の確保と維持向上を図るため、内部技術評価(評価責任者: 本社事業部長)を早い時期に実施します。
また、以降においても定期的に実施します。
- (3) 日常のヒューマンエラーを確実に防止するため、豊田事業所と運転会社との連携を密にして教育・訓練を継続して実施します。
- (4) 今回の事故対策等で抽出された不具合箇所の要因を日常点検、月例点検で生かしてトラブルの未然防止に努めるとともに、トラブル発生時には、速やかに適切な対応ができる体制を維持向上していきます。
- (5) 緊急時の適切な連絡はもとより、事業だよりやホームページで情報をわかりやすく積極的に公開し、地元の皆様との信頼関係の回復に努めます。
- (6) 弊社を監督する環境省の指導監督のもと、常に緊張感を持って安全で確実なPCB廃棄物の処理を行います。



運転再開前の安全訓辞



中央制御室における運転状況の確認



真空加熱炉への投入
(運転再開後初)

コンデンサ素子
裁断操作作業



3. 運転再開後の施設公開

豊田PCB廃棄物処理施設では操業開始以来、事故後の操業停止中も見学を受け入れてきましたが、運転再開後も積極的に受け入れます。(見学者通路を案内し説明しますので、事前予約が必要です。)

【参考アドレス】事故対策報告書 : <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/pdf/toyotajikofinal.pdf>
見学申込について : <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/facility/tour.html>

2. 防火訓練について



避難誘導訓練の点呼確認

7月12日に豊田PCB廃棄物処理施設において、防火訓練を実施しました。

防火訓練は、SD油受入室においてSD油が流出し自然発火が起きたという想定で行いました。具体的には①現場確認と初期消火訓練、②避難誘導訓練、③消防署、関係各所への緊急通報訓練、④粉末消火訓練、⑤土嚢積み等のSD流出防止訓練、⑥防災対策本部及び現地指揮本部設置訓練、⑦JESCOと運転管理会社との連携訓練を行い

愛知県及び豊田市に訓練状況の確認と講評をいただきました。今後も定期的に非常訓練を実施します。

※SD:Sodium Dispersionの略で、PCBを無害化処理するための化学薬品です。

3. 豊田市環境部長による運転再開状況の立入について

7月27日、豊田市環境部長、同調整監、環境保全・廃棄物対策担当専門監が豊田PCB廃棄物処理施設を立入・確認されました。

運転再開した施設の素子裁断設備、攪拌洗浄設備、真空加熱分離設備、活性炭吸着設備、中央制御室などを視察され、職員の運転状況や設備の稼働状況を確認していただきました。

豊田市の運転再開の条件及び弊社の運転再開の基本方針を遵守して、安全を最優先に確実な処理を行います。



豊田市環境部長の立入確認

4. PCB廃棄物処理に係る東海地区広域協議会の開催について



PCB廃棄物処理に係る東海地区広域協議会

平成18年度第1回PCB廃棄物処理に係る東海地区広域協議会が、7月31日に愛知県自治センターにおいて開催されました。

始めに、事務局及び環境省からPCB廃棄物対策に係る最近の動き等について説明がありました。

続いて、JESCOから豊田事業のPCB漏洩事故対策の報告及び操業再開について報告と説明をしました。

協議会から、運転再開にあたっては安全第一に行うこと等のご意見をいただきました。

【PCB廃棄物処理に係る東海地区広域協議会】

豊田PCB廃棄物処理事業等に係る広域調整に関して、安全の確保及び運搬調整を図るため設置され、愛知県、豊田市等4県7市、環境省(オブザーバー)、JESCO(特別会員)で構成されています。

連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>